

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールみらい伊丹野間（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年11月3日		～	2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年11月3日		～	2026年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指定基準以上の職員配置をしています。 職員の専門性も様々です。 職員同士の関係性も良く、風通しのいい雰囲気です。	思ったことや気になったことは、伝え合うように心がけています。 職員の人柄に支えられている部分も大きいです。	引き続き、職員間のコミュニケーションを大切にしていきます。 子どもたちと一緒に、活発にコミュニケーションをとれるように努めています。
2	毎日、活動後に清掃・消毒を行っており、清潔に安心して過ごせる環境の整備ができています。	子どもたちが過ごすスペースや、よく触る場所などを、毎日重点的に清掃・消毒を行っています。 エアドッグ（高性能空気清浄機）を設置し、ウイルス等の対策を行っています。	引き続き、環境整備に努めています。 物の配置や整理整頓をおこない、より安全に過ごすことのできる環境づくりをしています。
3	同法人内の3事業所で、年2回のイベント（サマーコンサート・クリスマス会）を開催し、子ども・保護者・職員の交流のばを設けています。	ピンゴ大会やゲームなど、楽しいプログラムも取り入れていきます。	コンサートにおいては、子どもも大人も興味関心のある曲をリストアップし、様々な楽器を用いて演奏しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の勤務体制により、全員揃っての会議が難しい所があります。	非常勤職員の勤務時間等の関係で、全員が揃いきることは難しいのが現状です。 また、送迎時間等で職員の出入りが多いのも原因です。	参加できなかった職員のために情報交換ノートを活用し、情報共有を行っています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アフタースクールみらい伊丹野間（児童発達支援）

公表日 2026 年 2 月 1 0 日

利用児童数 20

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0		児童1人当たりの床面積の基準を満たし、ゆったりと活動できるスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	2		指定基準以上の職員配置をしています。今後も、十分な配置をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	7		今のところ改善の必要はありませんが、今後必要に応じて可能な範囲で対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1	0	3		毎日の清掃と消毒、空気清浄機の設置など、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0		今後も職員の資質向上とともに、子どもたちや保護者の皆様に寄り添った支援ができるよう、心がけていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	1		安心安全な居場所を提供し、自然な形でソーシャルスキルが身につくように支援しています。また、1人ひとりの個性を大切に、たくさんの方の成功体験で「できる喜び」を感じられるよう支援しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		今後も、子どもと保護者のニーズや課題に寄り添った個別支援計画の作成を心がけていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	3		児童発達支援のガイドラインで示す内容から、子どもの支援に必要な項目を設定し、その上で具体的な支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	3		計画を職員間で周知し、計画に沿って支援することを心がけています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	2		個別の課題により、固定化しないようそれぞれ考えて実施しています。今後もより良くなるよう努めています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	7		交流の計画はありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2	0	0		丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	0	3		丁寧な説明を心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	0	0	2		定期的開催しており、実施の際はホームページやプリントなどで周知しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	0	0	毎回、活動内容と報告が丁寧に書かれていますので、しっかりと確認するようにしています。	定期的な面談にて、ご家庭や園での状況をお聞きしています。その他、送迎時や連絡帳等を通して共通理解に努めています。今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	1		保護者のニーズに合わせ、ご質問等には速やかに対応するように心がけています。今後も継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	1		今後も子どもたちや保護者に寄り添った支援に努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	0	4		令和7年度は、3回保護者会を開催しました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	7		保護者からのご質問や面談のニーズがあった際は、速やかに対応するよう心がけています。今後も継続していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	2		今後も配慮を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	3		毎月発行の通信、ホームページ、SNSなどで情報を発信しています。今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2		インターネットのセキュリティ、書庫の施錠など、個人情報保護に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	6	送迎サービスを利用しており、事業所内だけでなく移動中も保護者と離れるため、事故防止、防犯については特に十二分に徹底していただくと幸いです。	マニュアルをそれぞれ策定し、契約時に重要事項説明書とともにお渡しする別紙にて説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	6		避難マニュアルを策定しています。火災・地震それぞれの訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	5		今後も安全確保に努め、研修などに取り組みます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	4		ケガなどがあつた際は、保護者に必ずご連絡し、状況等についてお伝えいたします。今後も速やかな対応を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	事業所にも慣れてきて、落ち着いて通う様子が見られます。先生方がとても優しく、本人のペースに合わせ、できたことを褒めてもらえることが安心に繋がっていると思います。	日頃より、当事業所の活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0		ひとりひとりの個性を大切に、たくさん成功体験を積み重ねて「できる喜び」を感じてもらえるような支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0		安心・安全で、笑顔と自信と楽しさがいっぱいの居場所づくりに努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アフタースクールみらい伊丹野間（児童発達支援）		2026年 2月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	児童一人当たりの床面積の基準を満たし、ゆとりと活動できるスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	指定基準以上の職員配置をしています。子どもの利用人数に合わせて、児童が安心して活動できるように職員の配置人数を決めています。多めの職員で、きめ細やかに見ることができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	棚やバスルマットなどを利用し、活動と遊びのスペースを視覚的に分けています。建物の1階に事業所があり、段差もなくバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日活動後には清掃と消毒を徹底しています。空気清浄機やエアドッグを導入し、清潔な環境の維持に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	広く職員が参画できるように、ミーティングが実施されています。	出勤体制や送迎により、全員揃ってのミーティングは難しいのが現状ですが、ミーティング・申し送りを引き続き実施します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	年に1回、評価表での意向確認を行い、それをもとに業務の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	日頃から風通しの良い環境を心がけ、気付いた時に話し合える環境をつくることに努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	社会保険労務士、行政書士、税理士など、専門の助言を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	内部研修、外部研修を設定しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページやSNSにて、支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	利用者、および保護者のニーズや課題を把握して支援計画を作成しています。担当職員がアセスメントを行い、保護者と面談し、ニーズや課題を考えて支援計画を作成しています。	引き続き、担当職員と利用者の課題について話し合う時間を、できる限り確保したいと考えています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	モニタリングを行い、課題などを共有しています。	支援計画作成会議を定期的に行い、保護者との面談内容を職員間で共有し、作成を進めています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	日々、計画に沿った支援が行えているか確認できるよう、個人ファイルにファイリングしています。	引き続き、支援計画の内容を職員間徹底周知し、支援を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	全員ではありませんが、希望のあった利用者には検査を実施し、アセスメントに役立てています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	面談などを行いながら、利用者に合った具体的な支援内容を設定しています。5領域も含まれた具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	同じ内容が続かないように配慮しています。また、その日に来所している利用者の様子などからないつ陽を臨機応変に変える事もあります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	職員の勤務時間により全員で参加できませんが、その日にあったことを話しています。情報交換ノートも活用しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		全員揃って時間をとることは、現状困難です。その日気になったことは必ず伝達するよう、職員一同心がけています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	活動記録（ABAプログラムデータ）をとり、支援の検証・改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	対象の利用者をよく見ている職員を中心に、モニタリングを定期的の実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	利用者のことを理解している職員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	園や障害福祉と連携をとれるようにしています。	今後も各関係機関と連携をとりながら、支援していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	機会は少ないですが、機会があった際は適切な職員が参画できるよう努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		保護者からのニーズがあれば、連携に対応することができます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	2	連携をとり、研修なども受けています。	外部研修を、今後も継続していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0		実施の予定はありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳などを通し、適宜情報共有をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	定期的にペアトレやアンガーマネジメントの機会を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	丁寧な説明を心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者の意見を聞き、意向を確認しています。面談や日々の保護者とのやり取りの中で意向を確認する機会があります。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的な面談や連絡帳などにより、ご家族に寄り添った支援ができていると思います。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	令和7年度は、3回の保護者会を行いました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		相談があれば、迅速に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ホームページ・SNS・かわら版など、様々なツールでの情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	インターネットのセキュリティは強固なものを導入しています。書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		実施の予定はありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に災害に関する研修・訓練を行い、防災袋も常備し、もしもの時に備えています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	避難場所を確認し、訓練を行っています。 外部講師を招いてAED、救命講習を行っています。 集団活動中に非常災害が起こった時、どうしたらよいかを利用者に伝えています。	引き続き、地震・水害・火災など、年に2～3回研修・訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	入所時に、保護者に必ず確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	入所時に、保護者に必ず確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	危険なところがないかを確認し、改善しています。	日頃から安全面を考慮していきます。 危険を感じた時は状況報告をし、速やかに改善していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット報告書の回覧、共有により、再発防止を検討できています。	共有と方策の検討を、今後も徹底していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設け、研修を必ず行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	対象者はいませんが、マニュアルは策定しています。	